

Do!

2022.SUMMER

7月号

VOL.477

DOKKYO UNIVERSITY NEWS



02_メッセージが届いています!

04_最新留学レポート

09_仕事の現場から

10_この夏、何する?何したい?



図書館長
山本 淳 ドイツ語学科教授

学びと教育・研究を支える図書館として

図書館は、数多くの本や資料を所蔵している空間であるとともに、日々様々な活動を行っている、ひとつの有機体です。そのあり方も、時代や社会の変化に伴い変わっていきいますが、本学図書館では、学生・教職員、地域のみなさんにとってさらに役立つ存在となるよう、現在以下のポイントに取り組んでいます。

1. 学生の自律学習や教員の教育活動支援のさらなる強化・拡充

図書館ならではのラーニングコモンズ機能、アクティブラーニング支援をさらに強化拡充していきます。各種セミナーの開催、図書館を支援する学生ボランティア組織「BiVSビボス」との協働もその一環です。

2. 研究活動支援と知の生産への貢献

研究活動に必要な情報を確保し、学術情報流通を促進します。

3. コレクションの整備・拡充とナビゲーションの改善

図書・資料コレクションの整備・拡充、ナビゲーションの改善に引き続き努めるとともに、コロナ禍の経験を踏まえ、これまで以上に図書館の電子化を進めます。

4. 他機関・地域との連携と国際化の促進

学外、地域との連携を促進し、さらに図書館の国際対応能力の向上に努めます。

5. 図書館の発信力強化

図書館関連の情報を学内外に発信し、利用促進とともに、学外、地域との連携強化を図ります。目下Twitterでの積極的配信を行っているほか、360°バーチャルツアーの実施計画も進んでいます。

もちろん、図書館に立ち寄るのを日課としたくなるような心地よい空間づくりにも努めます。みなさんぜひ、広々として落ち着いた雰囲気の中で、大きな窓から中庭の緑を眺めながら、本を読んだり、勉強したりしてみませんか？

1年生からキャリアセンターを利用しよう！

大学は多くの学生にとって学びの最終段階であり、4年間の学びを終えると社会に出ていく方がほとんどです。獨協大学で「学問を通じての人間形成」を行ったみなさんが、今度は社会人として力を発揮し、より良い社会づくりに参加することになります。

獨協大学キャリアセンターは仕事探しをお手伝いするだけの場所ではありません。大学で学問に取り組んでいるみなさんが、自分はどんな人なのか分析し、仕事とは何かを理解することを通して、それぞれの進路を考えることができるよう、支援しています。

自己理解を深め、職業観を養うにはある程度の時間が必要です。キャリアセンターでは、就活開始前の1、2年生が自分の将来の進路や生き方について考えることができるような講座を多数実施しています。3、4年生へは、筆記試験講座や応募書類・面接試験への対策など、実践的なアドバイスをを行います。

獨協大生にお願いしたいことは、まず真剣に学問に取り組むこと。基礎的な語学力、専門分野の知識、すべてがみなさんの将来に直結します。また、クラブ、サークル、アルバイト、ボランティアなど、この4年間だからこそできることに積極的に取り組んで学生生活を充実させてください。そして1年生のときから気軽にキャリアセンターを訪れてください。私たちは膨大なデータと分析力で、みなさんのキャリア形成を支援します。獨協大学で学びを深めた卒業生たちは、日本中・世界中のあらゆる場所で活躍しており、高い評価を得ています。自信を持って進んでいきましょう。



キャリアセンター所長
岡田 圭子 経済学科教授

獨大生の
みなさん

"メッセージが届いています!"

獨協大学には、キャンパスライフを充実させるための様々なサポートがあります。

みなさんは活用していますか？ みなさんの様々な活動を支援するセクションの長である先生方からメッセージが届いています。

あなたは「世界市民」ですか？

PISAという調査について聞いたことはありますか。OECDが実施する国際的な学習到達度調査です。「日本は数学と科学では世界トップレベル」とか「日本の若者の読解力が落ちている」などと、その結果が大きく報道されます。前回の実施は2018年、日本から6,000人ほどの高校1年生が参加したので、皆さんの中にこの試験を受けたという人もいるかもしれません。

2018年には「読解」「数学」「科学的リテラシー」という3分野に加えて、新たな分野「グローバル・コンピテンス」が導入されました。異なった地域が複雑に関係し合いながら、急激に変化しているのが21世紀の世界です。その変化を支え、その変化の恩恵を受けて生きていくために必須な能力が「グローバル・コンピテンス」です。OECDはこの能力を、1) 地域、世界、異文化の問題に取り組む力、2) 他者の視点を理解し尊重する力、3) 文化の違いを超えて関わり合う力、4) 社会の幸福と持続可能な発展のために行動する力と定義しています。

2018年の「グローバル・コンピテンス」の調査では、試験に加えアンケートも行われました。その項目のひとつは、「私は自分を世界市民だと感じている (I think of myself as a citizen of the world)」という文について、a) 強くそう思う、b) ややそう思う、c) あまり思わない、d) ぜんぜん思わない、から一つ選ぶというものです。世界が直面する課題を深く理解し、他者や異文化への開かれた態度を持つ。そのような「世界市民」としての自信を、みなさんが獨協大学で強めていってくれることを大いに期待しています。まずその一歩として国際交流センターに足を踏み入れてみてください。

国際交流センター所長
前沢 浩子 英語学科教授

大学生活を豊かなものにしよう

獨協大学の校友会はすべての学生が会員となる全学的な組織です。日々の具体的な活動は、校友会本部のもと、文化会本部・体育会本部及び愛好会本部に所属する団体・サークル、大学祭である雄飛祭の実行委員会及び卒業アルバム編集委員会によって学生主導で実施されており、団体・サークルの活動をサポートする各本部や校友会の財務面の健全性を担保する会計監査団も学生によって組織・運営されています。ワンキャンパスに8,000人以上の学生が通学するため、同好の士を募りやすいという本学の特性を生かし、スポーツ、ダンス、音楽、文化・文芸等から、国際交流やボランティア活動等に至る幅広い領域で100有余もの団体・サークルが活動しています。また、遠距離通学やアルバイト等で時間が制約されがちな学生も参加可能な昼休みを中心に活動する団体など、活動時間・場所にも多様性が見られます。

みなさんは、コロナ禍で好きなことが自由にできないという生活を2年以上強いられてきたと思います。この機会にやってみたかったことを実行に移してみませんか？ 入りたい団体・サークルがなければ新設することも可能です。授業・試験対策とアルバイトだけの生活では4年間でもったいない！ 仲間との触れ合いが大学生活をより豊かなものとし、卒業後の人生を味わい深いものにするはず。校友会総務部は教職員一丸となって学友会活動の活性化に尽力する構えでありますので、何かあったら気軽に相談してください。

校友会総務部長
吉川 信将 法律学科教授



埼玉県オハイオ州スカラシッププログラムの開始に多大な貢献をしたJobsOhioへの表敬訪問

日本人留学生の集合写真



オハイオ州開発省ディレクターへの表敬訪問時のプレゼンテーションの様子

日本語文化アウトリーチの講義における紙芝居の練習風景



さん 言語文化学科4年



留学先: グアダハラ大学【メキシコ】
留学プログラム: 交換留学
期間: 2021年8月～2022年6月(1学期目は日本からオンラインプログラムを受講し2学期目に現地で学修)

スペイン語が持つ素敵な表現や言い回し、また話者が多い点などに魅了され、もっとスペイン語を学びたいと思い留学を決めたさん。1年時にグアダハラ大学から来ていた3人の留学生と仲良くなったことや、2年時にグアダハラ大学付属の語学学校に1か月間短期留学した経験によりメキシコ留学を決めました。

Q. 留学中の語学勉強法を教えてください

授業以外ではとにかく友人と話すことを意識しました。私は幸運なことにとても仲の良い友人と出会うことができ、授業の後にキャンパスの芝生に座り日常の些細なことから家族のこと、将来の夢などひたすら会話する機会に恵まれました。何か間違いがあったらすぐに直してもらうように頼み、知らない単語に出会ったときにはすぐに説明してもらいました。

Q. 留学中一番思い出に残っていることは何ですか？

仲の良い友人家族とグアダハラ近郊の小さな村に旅行した時のことです。友人とその妹の3人で買い物をしていて、店員とスペイン語で話をしました。私が立ち去った後に友人の父がその店員と話した時に「あの子(私)だけ兄妹と似てないね」と言われたそうです。「娘だと思われたみたいだよ」と友人に言われ、私のスペイン語がその店員にとってそれほど自然に聞こえたということがとても嬉しく印象に残っています。



さん 言語文化学科4年



留学先: フィンドレー大学【アメリカ】
留学プログラム: 埼玉県・オハイオ州スカラシッププログラム
期間: 2021年8月～2022年4月

語学習得のための留学ではなく、英語で学ぶことを目的に留学を決めたさん。留学先では以前から興味を持っていた米国史、国際学、文化人類学などの授業を履修しました。フィンドレー大学は、国際課や担当教員(アドバイザー)からのサポートが手厚く、留学開始直後から履修登録や入寮の補助をしてもらい円滑に留学を開始することができました。

Q. コロナ下ならではの苦労はありましたか

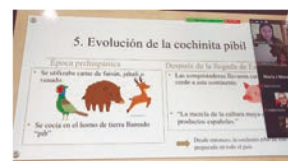
留学中は大学が運営する寮に住んでいたのですが、同居人がコロナに感染し、濃厚接触者として自宅待機を命じられたことがありました。幸いにも現地の友人に買い出しをお願いできたので、隔離期間中の食料を無事確保できました。

Q. 語学力アップの秘訣を教えてください

友人や親戚たちとの会話で語学力が大幅に向上しました。日々色々な会話表現を使い続け、自分よりも語学力の高い人と会話することを意識したことで、語学力がアップするのを実感しました。



バレンタインの日にグアダハラ大学で日本語を勉強している学生たちと白玉とガトーショコラ作りをしました



さんの個人プレゼンテーション(オンラインにて)



おすすめの参考書

高橋寛二、伊藤ゆかり
『例文で覚える スペイン語熟語集』
白水社、2013年

ひとりである時間にバラバラめくると友達と言っていた表現がたくさん出てきて驚いたことがあります。とても実用的な熟語が厳選されているように思います。

★国際交流センターの留学サポート

獨協大学国際交流センターでは、留学がより充実した経験となるよう様々なサポートを提供しています。5月には長期留学予定者を対象に第1回目の事前研修を行いました。留学の目的や目標、将来のビジョンを共有し、留学の意義や効果についての理解を深め、また外国人留学生を囲んで情報交換を行いました。第2回目は7月後半に実施します。留学後には成果を振り返り、その後の学修につなげるための事後研修を予定しています。



◀国際交流センター

実際に自分が留学に行く言語圏出身の留学生との交流会▶



最新留学レポート!

「留学してみたいけど一歩踏み出す勇気がない」
「現地での生活ってどんな感じなんだろう」・・・。
そんな疑問をお持ちの方に、現在留学中や留学から帰国したばかりのみなさんから、ホットな情報をお届けします。



さん 交流文化学科4年



留学先: ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校【アメリカ】
留学プログラム: 交換留学
期間: 2021年9月～2022年5月

高校生の時にイギリスへの語学短期留学をし、多様な文化に興味を持ったさん。大学で難民や移民、先住民族などについて学ぶ中で、様々な文化的背景を持った人々が共生し、差別や偏見がなく誰もが暮らしやすい社会を作るには何が必要かを学びたいと思い留学を決めました。アメリカは様々な人々が暮らしているため、多様な文化や価値観に触れることができ、実際にその環境に浸りながら探究できるのではないかと考え、アメリカを留学先に決めました。

Q. 留学先の大学の雰囲気や魅力を教えてください

コロナ禍の影響で留学生はそれほど多くはありませんでしたが、それでも10カ国以上の様々な友人と知り合うことができ、多様なバックグラウンドを抱える人と交流することができました。また、大学では映画の上映やコメディショーが頻繁に開催されるので、それも魅力の一つだと思います。

Q. 留学中苦労したこと、またその克服方法を教えてください

初めの頃は、授業で教授や他の学生の発言があまり聞き取れずに苦労しました。そこで、教授に許可をとり授業を録音し復習したり、オフィスパワーを活用して積極的に質問したりしました。留学後半ともなると録音に頼らずとも内容をその場で理解できるようになり、他の学生の意見を理解した上で、自分の意見を表明できるようになりました。

Q. 留学を考えている方へメッセージをどうぞ

現地の学生と共に授業を受けることは、私が想像したより何倍も大変なもので、何度も壁にぶち当たりました。しかし、日本で学んでいた内容と同じことを学んでも新たな視点が得られたり、アメリカの文化を肌で体験できたりと、毎日が新たな発見の連続で、とても貴重な経験となりました。現地でも、手厚いサポートをしてくれる人は多くいるので、ぜひ明確な目的や目標を持って一歩を踏み出してほしいです。応援しています。



日本語学科のドイツ人学生と日本人留学生でフライマルクトという期間限定のテーマパークに行った際の一枚



モン・サン・ミッシェル＆フランス一人旅

ポール・ワーデン
『TOEFL TEST 究極単語5000』語研、2011年
レベル別に実用的な単語が掲載されていて、後半では会話で使えるような言い回しが載っているのにおすすめです



おすすめの参考書



さん 英語学科4年



留学先: プレーメン専門単科大学【ドイツ】
留学プログラム: 交換留学(教授言語が英語によるプログラム)
期間: 2021年10月～2022年7月

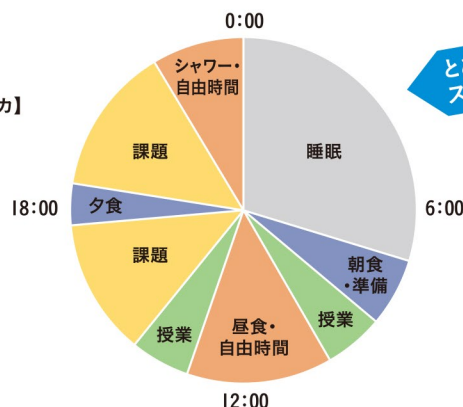
英語で経済や国際関係学を、世界中から集まる仲間とともに学ぶ目的でドイツへ留学しているさん。多様性と新しい言語圏の文化に触れたいという思いでドイツへの留学を決めました。ドイツはエラスムス^{※1}の国々はもちろん、アジアやラテンアメリカなど、たくさんの国からくる留学生たちと勉強や交流ができます。

Q. 日本との違いを大きく感じたエピソードを教えてください

ドイツはキリスト教がベースになっている国なので多くの建物が日曜日には閉まっています。ビジネスに宗教が絡むことは日本ではあまりないことなので、驚きました。また、大学生の年齢層がとても広く、私の友人には30代の大学生もいます。高校を卒業した後にギャップイヤーを取る人も多く、様々な経験を積んでから大学に入るなど、多様なバックグラウンドを持つ人たちが多くいます。

※1 エラスムス: EU加盟国の大学間交流促進プログラム

とある一日のスケジュール



キャンパス内に映画館があり、学生は無料で観ることができます



校門前で友人と



滞在していた寮



他の留学生やアメリカ人の友達とニューヨークに旅行に行った時の様子

おすすめの参考書

ブリティッシュ・カウンシル
『IELTSブリティッシュ・カウンシル公認問題集』
旺文社、2015年

この参考書はIELTS受験するのに必要な4技能全てを網羅しているのでおすすめです

獨協大学では施設や窓口に対する満足度を調査し、課題を発見するために毎年「学生による教育環境改善のためのアンケート」を実施し、翌年度の改善活動に反映させています。2021年度教育環境改善の取り組みおよび2021年度末に実施したアンケート結果についてご報告いたします。

【2021年度教育環境改善の取り組み】

■ 授業関連施設

- アリーナおよび人工芝グラウンドについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「企画書」という記入フォーマットを導入し、学友会の各団体がイベント等を実施する際にはその企画の概要と感染症予防の体制、対策を確認する取り組みを始めました。
- 図書館について、感染予防対策の特別ルールのもと、館内一部施設の利用を再開しました。
- ICZ(International Communication Zone)について、コロナ前の雰囲気にしてほしいという要望もあり、3階については、秋学期からできる限り通常のICZの運用に近づけるように対応しました。

■ 学生生活施設

- 食堂施設については、春学期は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、学生食堂の営業はほとんどできなかったため、教職員食堂の学生利用を拡大しました。秋学期は学生食堂での弁当販売のほか一部メニューの提供開始など、感染状況と学内の学生数を勘案しながら営業を行いました。
- 学生センター2階のトレーニングルームについては、利用講習会の参加予約を予約システムDOORSにより受け付けることとし、学生の利便性向上を図りました。

■ 窓口対応

- 「挨拶」、「丁寧」、「正確」のスローガンと教育的配慮に基づいて、学生のみなさんとの良好な関係づくりや、積極的な情報発信などに取り組みました。
- 学生のみなさんからの指摘やご意見について各部課室で話し合いを行い、速やかな改善に取り組みしました。

【2021年度「学生による教育環境改善のためのアンケート」】

■ 実施概要

学生ポータルサイトPorTaIIを利用し、学部生、大学院生、聴講生など7,799名を対象に21年度末にアンケートを実施しました。回答率は約10.7%で834名のみなさんから回答をいただきました。

■ アンケート結果概要

各設問に対する回答者全体の満足度の結果は **グラフ** の通りです。21年度は多くの授業がコロナ禍のため、対面とオンラインを併用した授業形態でした。

結果詳細および「自由記述に対する事務局からのフィードバックコメント」については、獨協大学HP「獨協大学の自己点検・評価活動」のページ内にある「学生による教育環境改善のためのアンケート」をご覧ください。

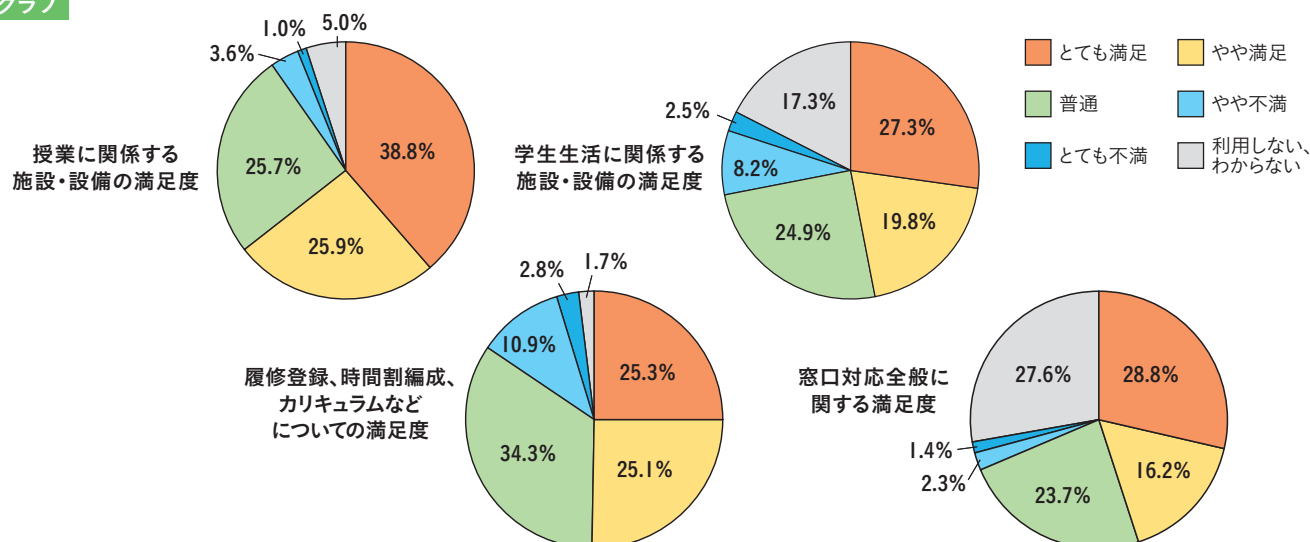
<https://www.dokkyo.ac.jp/about/selfmonitor/selfmonitor.html>



■ 今後について

今後は「事務局自己点検・評価委員会」を中心に、アンケート結果に基づく課題を抽出し、その検討および改善に取り組みます。

グラフ



夏季休業期間の窓口業務 【8月2日(火)～9月23日(金)】

一斉休業期間(全窓口閉鎖)8月10日(水)～8月16日(火)

●図書館(日・祝は休)

8月1日(月)～9月23日(金) 9:00～18:00

最新情報は、図書館ホームページの
「図書館カレンダー」をご覧ください。

●学生食堂、スタイルカフェ

7月23日(土)～9月23日(金)休業

●東棟ヘルプデスク、コンピュータ教室、西棟ラーニングスクエア

8月2日(火)～9月23日(金) 閉室

●CLEAS(クレアス)中央棟1階、天野記念館2階窓口、ICZ

開室時間については、教育研究支援センターホームページの
「開室カレンダー」を参照してください。

●教職員食堂(中央棟2階)

7月23日(土)～9月23日(金) 休業

●セブンイレブン

営業日 月～土曜

営業時間 平日8:30～17:00 土曜8:30～15:00

●ぶつくぎやらしいDUO

営業日 月・水・金曜

営業時間 10:00～15:00

●サービススポットDUO

・専門学校受付等(株式会社デュオ)

営業日 月～金曜(水曜休) 営業時間 10:00～15:00

・アパート紹介コーナー(株式会社おる不動産)

営業日 火曜のみ営業 営業時間 10:00～13:00

●同窓会事務局

月～金曜 9:00～17:00

保険関係 10:30～16:00(水曜休)

懸賞論文

第50回学生懸賞論文 募集開始

- テーマ (1)現代世界と国際秩序
(2)成年年齢引き下げについて
(3)日本におけるDXの現状と課題
(4)SDGsの実現に向けて

■応募締切 10月19日(水)17時

■応募開始、応募方法

7月1日以降、獨協大学ホームページで公開予定

獨協大学総合企画課 学生懸賞論文係 kronbun@stf.dokkyo.ac.jp

■賞 最優秀賞 賞状及び副賞 10万円

優秀賞 賞状及び副賞 5万円

※応募者全員に記念品(QUOカード千円分)を贈呈

■入選発表 本学ホームページ、大学内掲示板および、
『獨協大学ニュース1月号』に掲載予定。最優秀賞の本文を『獨協大学学報』、最優秀賞と優秀賞の要旨を
本学ホームページに掲載予定。

卒業式

9月卒業式・学位記授与式

日時: 9月20日(火)10:00～

場所: 天野貞祐記念館大講堂

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は以下のとおり実施します。

■式典後の各卒業生への学位記授与は、学部別に別室控室にて行います。

■祝賀会はいりません。

■式典へはご父母及び保証人は2名まで出席が可能です。学内入構および会場入場の際は学生に同伴してください。

■卒業生は、当日学生証をご持参ください。

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては内容が変更となる場合があります。詳細は改めてPorTallおよびホームページでご確認ください。

授業評価

2022年度春学期

「学生による授業評価アンケート」にご協力ください

詳細はPorTall → 「ダウンロードセンター」 → 「学生用フォルダ」
→ 「授業評価(教育改善)アンケート」の資料を確認してください。

期間: 7月4日(月)～7月24日(日)

対象: 全学生

回答方法: PorTall上で回答 所要時間: 約30分

問合せ先: 自己点検・評価室(6棟1階)

☎ 048-946-1824、048-951-2666

✉ jikotenken@stf.dokkyo.ac.jp

財政開示

獨協大学及び獨協学園の財政開示について

獨協大学及び獨協学園全体の財政状況は、7月中旬に大学
ホームページで開示します。

こちらをご覧ください。

URL <https://www.dokkyo.ac.jp/about/finance/>

DUETAによるオンライン講演会を開催します

獨協大学英語教育研究会 (DUETA) は、第26回講演会「教師と生徒の英語によるやり取りを中心とした授業づくり」をオンライン上で開催します。講師には群馬大学共同教育学部英語教育講座講師である津久井貴之氏をお招きし、新学指導要領に基づく指導と評価のポイントや課題について参加者のみなさんと共に考えていきます。

日 時: 7月23日(土) 15:00~17:00

開催方法: オンライン配信 (Zoomミーティング利用)

対 象: 英語教育に関心がある方であればどなたでもご参加いただけます

お申し込みはDUETAホームページから <https://www.dokkyodueta.org/>

日経「企業が欲しい人材を育てる大学 (東京に本社がある企業)」私大1位にランクイン

日本経済新聞社と就職・転職支援の日経HRが全上場企業と一部の有力未上場企業の人事担当者に実施した「人事が見る大学イメージ調査」の調査結果が公開され、総合ランキングが全国私立大学で3位(全体28位)、東京に本社のある企業では全国私立大学で1位(全体5位)にランクインしました。

詳しくはこちら

<https://www.dokkyo.ac.jp/information/2022/20220615005467.html>

(参考:『価値ある大学2022-2023 就職力ランキング』日経HR)

学費「Web口座振替受付サービス」のご案内

このサービスは、ご自宅のパソコン等を使って、学費の納入方法を「銀行振込」から「口座振替」に変更するものです。これにより、銀行での振込の手間と手数料がなくなります。是非、この機会にご利用ください。

【Web口座振替受付サービスの概要】

- ★ Web画面によるオンライン手続(銀行届出印不要) ★ 口座振替日: 春学期4月12日、秋学期9月12日
- ★ 8月20日までに手続きいただければ秋学期の学費から口座振替となります。 ★ 手数料は大学負担です。



Web口座振替受付

行事報告

5、6月の開催行事報告

開催日	行 事	
5月7日	獨協大学マンドリンクラブ第98回定期演奏会(オンライン)	主催: 獨協大学マンドリンクラブ
5月14日	父母の会総会	主催: 総合企画課
5月17日、19日	防災備蓄品を活用した防災カレー提供(学生食堂)	主催: 総務課
5月18日	NHK大学セミナー「バックンマクソンの英語にThank you!」	共催: NHKさいたま放送局・獨協大学
5月21日	【高校生対象】来場型キャンパス見学会	主催: 入試課
5月24日	安否確認送受信テスト訓練	主催: 総務課
5月25日~28日	第49回創造祭	主催: 第49回創造祭実行委員会
6月1日	【高校教員対象】獨協大学入試説明会	主催: 入試課
6月5日	【高校生対象】オープンキャンパス	主催: 入試課
6月10日	第12回公開講演会「オンライン国際教育の現在と未来: COIL型教育と外国語学習」	共催: 獨協大学外国語教育研究所・獨協大学国際化推進委員会
3月28日~9月30日	日独交流160周年記念企画展「獨協学園の歩みとその役割」	共催: 獨協学園史資料センター・獨協大学外国語学部ドイツ語学科



最新のニュースはこちら

ぶらりらいぶらり Vol. 103 卒論とは…世界に1つの貴重な著作物

図書館HP

Twitter



卒論、
どうしたらいいか
わからないな…



■「レポート・論文の書き方」の本を探そう

図書館は、オススメ本を数多く所蔵しています。



■ こういう図書を探そう!

レポート、論文の書き方の図書は、多くは、3階9番の書棚にあります。
この図書なら、電子ブックも利用できます。

■ 4年生の皆さん

卒論は順調に進んでいますか。

遅くとも夏休み前までに資料集めをしておきましょう。



■ 図書館を資料集めに活用しよう

インターネットでも学術論文が探せますが、図書館には図書、雑誌、新聞、電子ブック、電子ジャーナル、データベースなど卒論やレポート作成に有用な資料があります。

■ まずは下記のデータベースで探そう!

OneSearch(まとめて検索)
蔵書検索(OPAC)

■ 卒論の精度を上げる

例えば、こんな情報を探したり、論文の中に盛り込んでみましょう。内容がグッと説得力あるものになります。

- ・統計データ
- ・企業の先進事例
- ・海外の文献 など

迷ったら、困ったら
レファレンスカウンターに相談

レファレンスカウンターは1、2階にあります。

卒業生に仕事についての喜びや、獨大生に向けてのメッセージを語っていただきます。

「夢に向かって 頑張る人に寄り添う」 それが私の仕事です。

学校法人 小山庄園 広報本部
専門学校 東京テクニカルカレッジ入学相談室 主任
長谷川 早紀 さん
(17年律卒)

私は現在、小山庄園(東京・中野)の広報本部で入学相談室担当として働いています。主な業務は小山庄園が運営する東京テクニカルカレッジの広報として、進路に悩む高校生やその保護者の方、高校の先生、夜間コースに入学を考えている社会人の方々に、当校のカリキュラムや魅力、理念などをお伝えすることです。

私は「夢を持って頑張る人を応援する仕事したい」と考えて学校職員という道を選びましたが、最初からこの職業を目指していたわけではありません。獨協大学に入学した当初は、高校時代の先生に憧れて教師を志していました。生徒一人ひとりに寄り添ってくれる先生で、その方のようになりたいてと教職課程の授業も教育実習も、全力で臨みました。

しかし教師について知っていくうちに、少しずつ考え方が変わり始めました。私は人を引っ張っていくことが苦手です。もちろん中にはそんな先生もいるのですが、私は自分を鑑みて、もっと自分に合ったやり方で夢を目指す人や頑張っている人を応援したいと考えようになりました。そして選んだ道が、学生たちを陰ながら支え、夢の手助けをする学校職員でした。これなら教師とは違うやり方で、憧れていた先生のように学生たちを支え、力になれると思ったのです。

就職したての頃は、学生時代に見ていた学務職員とは違う広報の仕事に、戸惑うこともありましたが、しかし今は、我が校がどんな学校で、どんな理念を持っているのか、いかに力になれるのかを学生に伝え、道を選ぶ手助けをする、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

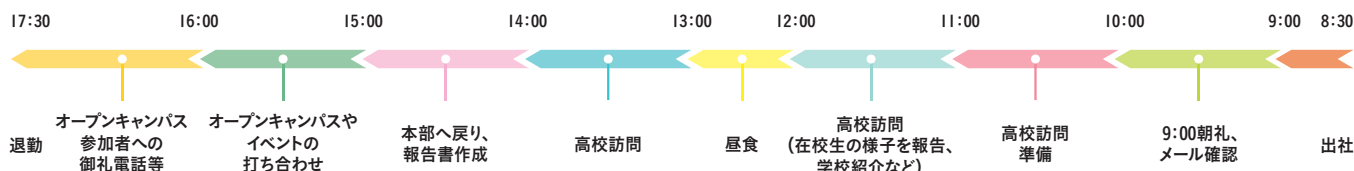
私も今年で就職6年目、主任という立場になり、後輩や部下もいます。そこで改めて感じているのは、

自信を持つことの大切さです。後輩たちの前では「先輩」として振る舞わなければいけませんし、時には授業の時間を借りて高校生の皆さんの前に立ち、就職や進学についてガイダンスをすることもあります。その時、私は「小山庄園の顔」としてそこに立っていますし、生徒の皆さんにとっては「先生」と同じです。そうした場に臨む度に、自分の役割を自覚します。「不安そうな態度ではダメだ!」と、自信を呼び起こすのです。

大学で必死になって取り組んできたゼミや教職課程の勉強、サークル活動などの経験は、そんな私の自信を支える礎になっています。獨協大学では法学部のたくさんのレポートに取り組むつつ教職課程の勉強をし、アメリカンフットボール部でマネージャーの仕事に励みながら、体育会本部では財務局長と副委員長まで務めました。レポートや授業などで学んだ考えを整理してわかりやすく伝えるスキルは、仕事でも大いに生かされていますし、大変でも全力で取り組んだ経験が、今の私を支えてくれています。

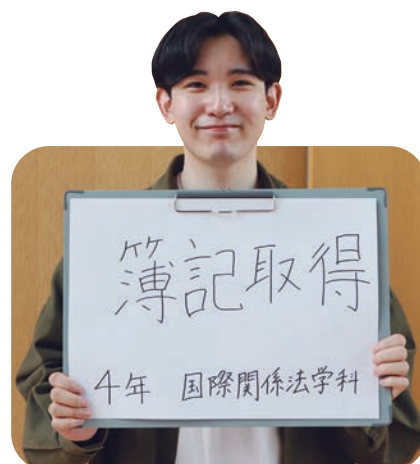
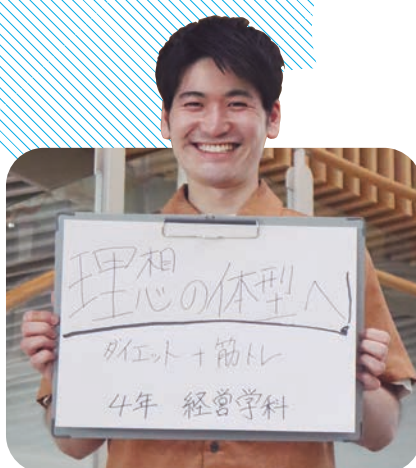
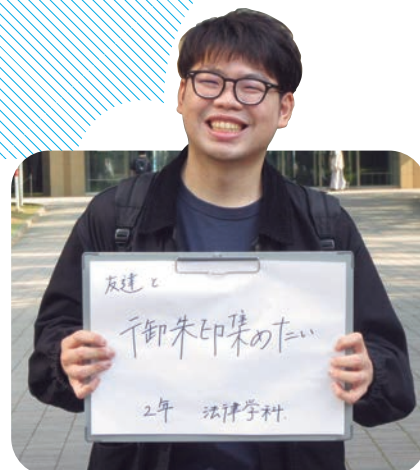
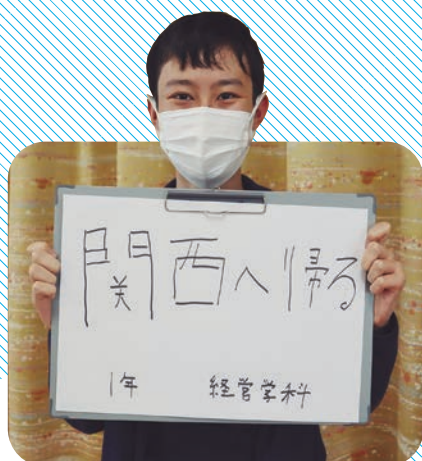
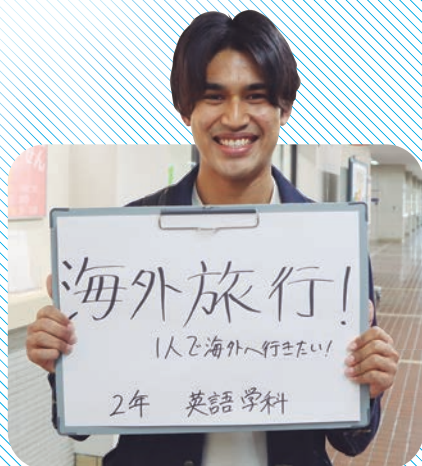
学生時代から自分が興味を持てる物事に熱意をもつて挑戦することは経験と自信を生み、大きな財産となります。どうか学生の皆さんも、「自分はこれを学生時代に頑張りました」と将来胸を張って言えるくらい、何かに取り組んでみてください。その経験はきっとあなたの支えになってくれます。

長谷川さんのある一日のタイムスケジュール



この夏、 何する？ 何したい？

いよいよ夏休み！予定は決まりましたか？
学生記者が、獨大生のリアルな声を集めました。それぞれのカタチで、それぞれのやり方で、この夏を満喫しよう！



本箱

本学の先生方が執筆された新刊情報

井上 たか子(名誉教授)訳
(ジゼル・アリミ、アニック・コジャン 著)

『ゆるぎなき自由
女性弁護士ジゼル・アリミの生涯』
勁草書房 2021年11月 2400円



フランスを代表するフェミニスト、ジゼル・アリミの半生記。友人によるインタビューで綴られる彼女の人生から、フランスのフェミニズムの歩みが見えてきます。

大野 恵理(交流文化学科専任講師)著

『「外国人嫁」の国際社会学
—「定住」概念を問い直す』
有信堂 2022年1月 4600円



自治体内に一定数外国人が散在している「外国人散在地域」。そこで「外国人嫁」として生きる女性たちの生き方、暮らし、社会的な位置づけから、非対称なジェンダー構造を探り出します。

野澤 聡(言語文化学科准教授)分担執筆

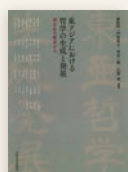
『よくわかる現代科学技術史・STS』
ミネルヴァ書房 2022年2月 3000円



現代社会を支える科学技術のプロセスや成果をとらえなおすためのテキスト。第一部では戦後からの科学技術史、第二部では社会と科学技術の関わりについて論じます。総勢76名の研究者による明解な叙述・解説です。

林 永強(言語文化学科准教授)分担執筆

『東アジアにおける哲学の生成と発展
問文化の視点から』
法政大学出版局 2022年2月 9000円



近代化に伴い、東アジアの哲学者が西洋哲学を受容、対決、そして自らの哲学を創造している。普遍性を追求し続けている一方、自文化という特殊性も無視できない。東アジアにおける哲学は、その思考実験に挑む。

大藤 紀子(国際関係学科教授)訳
(グンター・トイブナー 著)

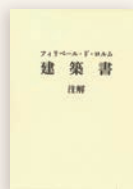
『憲法のフラグメント
—全体社会の立憲主義とグローバリゼーション』
信山社 2022年2月 4200円



社会が国境の枠を超えて機能的に分化している現在、国家的な憲法とは異なる、分化された領域ごとの「憲法」を捉える、新たな法学的視点を提示する一冊です。

鈴木 隆(名誉教授)編・著

『フィリパール・ド・ロルム 建築書 注解』
中央公論美術出版 2022年2月 35000円



16世紀、ルネサンス期のフランスで活躍した建築家フィリパール・ド・ロルムが著した、一体を成す先駆的な二冊の建築書の注解書です。読解を助ける注と解説により、その全容と意義を解き明かします。

須藤 廣(交流文化学科非常勤講師)、松本 健太郎(英語学科非常勤講師)編著
須永 和博(交流文化学科教授)、鈴木 涼太郎(交流文化学科教授)分担執筆

『よくわかる観光コミュニケーション論』
ミネルヴァ書房 2022年3月 2800円



デジタル技術によるコミュニケーションは、観光の姿をも大きく変えつつあります。本書では、「パッチャル観光」や「インスタ映え」など、新たな観光の在り方を模索・研究しています。

立田 ルミ(名誉教授)編・著

堀江 郁美(経営学科教授)、李 凱(経営学科准教授)著
『実践に役立つ情報処理
—基礎から応用まで— 2022年度版』
日経BP社 2022年3月 1900円



大学で扱う情報処理の授業に向けた教科書です。基本的なアプリケーションの使い方はもちろん、大学生に必須となる実践的な問題解決の方法も学ぶことができます。

堀江 郁美(経営学科教授)、黄 海湘(経営学科非常勤講師)分担執筆

『Officeによるデータリテラシー
—大学生のデータサイエンス—』
共立出版 2022年3月 2800円



社会人になるうえで必須となる基礎的なスキルを学ぶためのテキストです。多くの人が求められるOfficeアプリケーションの概要や活用法を、一から学べる入門書となっています。

北野 収(交流文化学科教授)訳・解題
(アルトゥーロ・エスコバル 著)

『開発との遭遇 — 第三世界の発明と解体』
新評論 2022年4月 6200円



南米コロンビアの経験を中心に、これまで世界中で行なわれた様々な「開発」について探る一冊です。先進国はかつての開発で何を問題視してきたのかを考察。それを通じて、現代の「持続可能な開発」の本質を見出します。

田中 善英(フランス語学科教授)著

『みんなの疑問に答える
つづやきのフランス語文法』
白水社 2022年4月 2600円



日本とフランスの発想の違いにも触れながら、初級・中級者の疑問に詳しくかつ分かりやすく解説する入門ハンドブック。魅力的な例文も満載で「読む文法書」としても必携です。

岡村 りら(ドイツ語学科非常勤講師)、矢羽々 崇(ドイツ語学科教授)、山本 淳(ドイツ語学科教授)、渡部 重美(ドイツ語学科教授)、アンゲリカ・ヴェルナー(名誉教授)共著

『スタート!ドイツ語B1』
白水社 2022年5月 2600円



既刊のシリーズA1とA2に続く、中級者向けドイツ語入門書。基本的なドイツ語文法を学びながら、話す・書く・聞く・読む能力を鍛えられます。

浦部 浩之(言語文化学科教授)共編著

『国境の時代』
大学教育出版 2022年5月 2300円



移民・難民問題、コロナ禍、戦争……現代の「国境」をめぐる様々な問題について論じた一冊です。世界と日本の国土について多角的に分析し、時間的変遷をたどりながら現在に至る背景を解説します。

安間 一雄(言語文化学科教授)共著

『Matrix Theory
—Classics and Advances—』
2022年5月 無料ダウンロード



言語テストで頻繁に使われる並べ替え問題の部分採点の解法を三角行列に置き換えて示したもの。これまで満点が0点としてしか処理されなかった採点法にメスを入れ、認知的到達度に応じた採点を可能にする合理的方法を紹介している。



黒川 文子(経営学科教授)著

『最新自動車業界の動向としくみがよくわかる本[第4版]』
秀和システム 2022年5月 1400円



国内外の自動車業界についての動向を紹介する一冊。エコカーや環境技術開発など、これから自動車業界を目指す人にとって知っておくべき情報やトピックが網羅されています。

獨協大学ニュース「本箱」欄に掲載する新刊情報をお寄せください。

本学教職員(非常勤講師含む)が執筆した単著・共著・分担執筆・監修・翻訳書などの新刊情報を募集しています。なお、価格は税抜表記としております。新刊がありましたら、中央棟2階総合企画課までご持参ください。表紙撮影後、返却いたします。

Cover Story

さん
国際関係法学科2年

獨協大学ニュース7月号の表紙を飾ってくれたのは、現在仲間と共に、獨協大学をPRするため日々動画撮影に奮闘しているさん。撮影した動画は自身で立ち上げたYouTubeチャンネル「サイキング／(大学生YouTuber)」にて配信しています。もともと人前に出ることが苦手だったさんですがYouTubeを始めたことにより場数を踏み、今では人前に出てあまり緊張しなくなったとのこと。「受験生が知りたいような情報をたくさんアップし、登録者数や視聴回数よりも、動画を見てくれた人が参考になるようなチャンネルにしていきたいです」と語ってくれました。



Photo by Satoshi Inokuchi

公式Instagram



活躍している学生や卒業生、大学についての情報を発信。学生のリアルな声を多数掲載しております。

@dokkyo.nyushi



みなさんのフォローを待ちしています！

Dokkyo University News Web版



獨協大学ニュース「Do!」は本学HPにも掲載しています。バックナンバーも閲覧できますので、ぜひチェックしてみてください。



読者アンケートにご協力ください

獨協大学ニュースでは、学生や保証人の方々が必要な情報、読みたいコンテンツを発信していきたいと考えています。今後の企画や掲載内容の参考にさせていただきますので、ぜひ読者アンケートにご協力ください。



編集 総合企画部(中央棟2階) TEL048-946-1635 kouhou@stf.dokkyo.ac.jp

学 生 記 者	秋元 壮馬(営2年)	跡部 雄太郎(総3年)	池下 奈穂ヴェレーナ(独3年)	伊藤 あす美(関4年)
[五十音順]	遠藤 夏乃(済4年)	大久保 賢斗(営1年)	岡田 陽依(英2年)	尾木 草輔(律3年)
	金子 愛美(英1年)	斉藤 駿斗(律2年)	佐藤 雪絵(仏1年)	杉田 慶一郎(律4年)
	鈴木 綾夏(英4年)	高橋 弘行(済4年)	田中 風羽(英1年)	程 帆(律2年)
	長橋 すず音(言3年)	原 友里恵(英2年)	藤岡 希(英4年)	藤崎 ゆな(営2年)
	古谷 一真(交2年)	堀口 太陽(英4年)	吉見 麻菜(済3年)	渡邊 帆風(営1年)

略称表記(学科) 独…ドイツ語 英…英語 仏…フランス語 交…交流文化 言…言語文化 済…経済
営…経営 環…国際環境経済 律…法律 関…国際関係法 総…総合政策



<https://www.dokkyo.ac.jp/>